

授業科目名	法と情報	期別	後期	授業形態	講義
担当者名	山下 義昭・奥村 勝	単位数	2	開講年次	1

授業科目の概要

この授業は、現代社会における「情報」の意義をふまえて、「情報の発信」、「情報の受信」、「情報の内容」、「高度情報通信社会」、「情報の伝達媒体（メディア）」を「法」との関わりという観点から把握するものである。この授業の狙いの一つは、広い意味で法的なものの見方を養うことにあるが、個別法の解釈や判例を検討するものではないので、この種の問題は原則として取り扱わない。

到達目標

- (1) 「情報」の「発信」「受信」「内容」「メディア」と「法」との関わりを説明できる。
- (2) 情報通信技術の基礎を歴史的に振り返りながら学ぶとともに、現在の社会におけるそれらの技術と活用を学ぶ。
- (3) 情報セキュリティと今後想定される新たな技術の期待と懸念事項を学ぶ。

成績評価基準および方法

定期試験（教科書、資料等の持込可）と授業への積極的参加、発言等により評価される平常点の合計によって成績評価を行う。成績評価は到達目標の達成度を基準として行う。それぞれに対する割合は、定期試験 80%、平常点 20%とする。

テキストおよび参考文献

松井修視編『レクチャー情報法』（法律文化社 ISBN 978-4-589-03428-1 2,800 円）を参考書として使う。その他必要な教材は、適宜事前又は授業において配布する。

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

授業は、講義が中心となるが、自らの頭で考えることができるよう一部討論形式も取り入れる。
予習の範囲についてはアサインメントを配付して事前に指示する。
予習は 1 時間程度、復習は（授業後当日が望ましい）1 時間程度。

授業計画および内容等

第 1 回	導入	「情報」の意義、「法」と「情報」とのかかわり方などについて学ぶ。
第 2 回	「情報の発信」と「法」(1)	表現の自由の個人主義的意義・社会効用的意義・民主主義的意義等について学ぶ。歴史については、欧米日の言論抑圧の歴史を振り返り、どのような経過を経て今日のような表現の自由保障に至ったかを学ぶ。
第 3 回	「情報の発信」と「法」(2)	同 上
第 4 回	「情報の受信」と「法」(1)	「表現の自由」に対応する「知る自由」について、「情報の受信」と「法」という観点から学ぶ。

第5回	「情報の受信」と「法」(2)	情報公開制度の整備によって、市民は、報道機関からの情報収集とは別に、公共情報を政府・地方関係諸団体から直接に求めることができるようになった。ここでは、情報公開制度の整備によって、国民は、報道機関からの情報収集とは別に、公共情報を政府・地方関係諸団体から直接に求めることができるようになった。ここでは、「情報の受信」という観点から同制度の概要を学ぶ。
第6回	「ビッグデータ」の利活用と「法」	高度情報通信社会におけるビッグデータの利活用と法的規制（「匿名加工情報」の規制を含む）について学ぶ。
第7回	「高度情報通信社会」と「法」(1) 情報通信技術の基礎	情報通信技術の基礎となる、情報処理および情報通信の基礎的技術について情報技術の歴史的発展の経緯を辿りながら理解することで、コンピュータやネットワークがどのような特性と可能性を持つのかを理解する。
第8回	「高度情報通信社会」と「法」(2) 情報通信技術の社会への普及と活用	インターネットの普及など、情報通信技術が、経済や生活、社会活動に広く普及、活用されることで各分野で大きな変化が起こりつつある。各分野の情報処理の活用事例や技術応用について事例を交えて学ぶことで、技術とそれがもたらす影響やについて理解する。
第9回	「高度情報通信社会」と「法」(3) 今後の情報処理の発展と法的問題	情報通信技術の社会への普及は、情報セキュリティなど新たな課題を生むことにもなった。具体的事案から、情報セキュリティで考慮すべき基礎的技術について学ぶ。さらに、ビッグデータや人工知能の活用など今後、社会に普及が見込まれる技術とそれがもたらす新たな課題について理解を深める。
第10回	「情報の内容」と「法」(1) 名誉とプライバシー	アメリカ合衆国におけるプライバシー（権）成立の歴史をたどり、同権利のわが国への導入とその後の展開について学ぶ。また、プライバシーの保護と名誉の保護との違いについて学ぶ。
第11回	「情報の内容」と「法」(2) 性表現とわいせつ	刑法175条、電波法108条、放送法4条1項1号青少年保護条例等によるわいせつ表現規制の問題を取り上げ、現代日本社会における規制のありかたを考える。
第12回	「情報の内容」と「法」(3) 個人情報保護	個人情報保護の歴史、国際的取組、また、わが国において制定されたデータ保護・個人情報保護関連法を取り上げ、それらのしくみや運用上の問題点などを理解する。
第13回	「情報の内容」と「法」(4) いわゆる「マイナンバー」	番号法（マイナンバー法）の概要と、同法制定の意義、個人情報保護法との関係などについて理解する。
第14回	「情報の内容」と「法」(5) 著作権	著作権の意義、歴史をふまえて、わが国の著作権法の特徴・しくみを整理し、今日の著作権問題を多角的に検討する。
第15回	「情報の伝達媒体（メディア）」と「法」 通信とインターネット	「高度情報通信社会」と「法」で学んだことをふまえて、インターネットをめぐる諸問題を多角的に検討する。
関連 URL		
備考欄		
第7回～第9回は、奥村（情報基盤センター）、山下の共同授業、それ以外は山下の単独授業の予定		